

第3回 情報通信審議会 技術戦略委員会

**日本の競争力を強化するための
産学官連携、国際連携、人材育成について
-2020年おもてなしソリューションを題材として-**

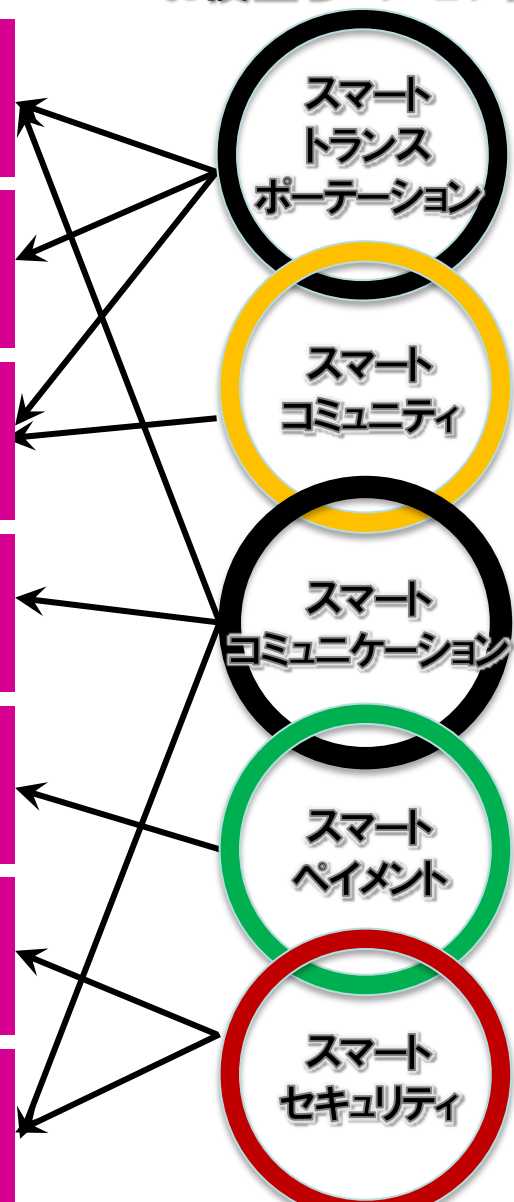
**2015年3月20日
パナソニック株式会社
岡 秀幸**

課題

政策目標

お役立ちコンセプト

交通 利便性	一般道の渋滞蔓延 訪日外国人の交通経路情報 入手困難	・自動車交通量10%低減 ・自転車走行232km整備
アクセシ ビリティ	高齢者人口が25%を超え、 バリアフリー化急務	・ユニバーサルデザイン整備
環境配慮	大会期間中の東京気温は 35度超え、熱中症リスクが増大	・2020年再エネ比率東京:20%へ ・ヒートアイランド現象緩和
コミュニ ケーション	訪日外国人の困りごと -1位 WiFiアクセス (37%) -2位 コミュニケーション (24%)	・外国人向け言葉のバリア軽減
決済	訪日外国人の16%が 両替・カード利用に不満	・クレジットカード等へ紐付けた ワンカード整備
安全	・オリンピックパークが無い状況での運営 ・会場周辺は生活圈、7割が海辺に 立地	・官民間でのセキュリティ体制の確立
防災	災害リスク(地震・洪水・津波等) は世界最大の評価	・防災情報のタイムリーな発信





空港

高速道路
/ 一般道路

鉄道/駅

コンビニ/商業施設

ホテル/オフィス

街中/ストリート

競技場

選手村

スマート
トランス
ポーターション

スマート
コミュニティ

スマート
コミュニケーション

スマート
ペイメント

スマート
セキュリティ

安心の空港



スムーズな入国システム

移動も楽しく快適に



スマート・オリンピッククレーン 待たせず安心な配車システム

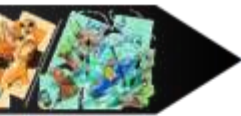
街じゅうがスタジアム化して楽しめる



交通弱者向け移動手段の充実 エコトランスポート



プロジェクションマッピング 交通機関向けインフォテインメント 多様なクールスポット整備



真夏歩道の快適性向上 ストリート・メディア整備 多視点映像チャンネル



ナビゲーションの提供



乗り換え、食事等
的確な駅中案内



ホテル/
多言語コンシェルジュ



交番/巡回中の案内



防災無線/
街中ディスプレイ等で情報発信も



スタジアム内での
多チャンネル・母国語解説提供



新・機内決済システム



ワンストップスマート決済



決済への生体認証応用

スムーズな観光・ショッピング



ホテル客室内での
多言語ショッピングサービス



公共空間での商品ショーケース



スタジアム内
自動デリバリーロボット



海上監視用カメラ



屋外対応全方位
ネットワークカメラ



施設単体からエリア全域まで
総合監視の実現



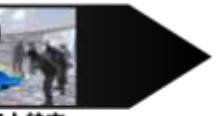
防災・誘導情報
メディアの設置



人物特定
ソリューション



4K高精細カメラ
死角レス監視カメラ



緊急時の瞬間個人特定
スタッフ間の情報共有高度化

街づくりを支える ソリューション

低炭素・高効率の自立分散エネルギーシステム



植物工場
ソリューション



高効率大型LED照明



物流最適化
ソリューション



高精細・双方向
映像コミュニケーション



“Feu”による
室内照明設計

4K放送システム 選手村向け エネマネ 業務用厨房 冷凍冷蔵設備

■ 国の競争力強化、産業の発展拡大の点でインパクトのあるもの

1. 基礎・基盤テーマ： 民間では困難、国主体で行うもの

- 電磁波基盤技術分野：時空標準、生体EMC、地球/宇宙観測等
- 先端的基礎融合分野：脳情報通信、バイオICT、ナノICT、量子ICT等

2. 社会課題解決テーマ： 利用者視点で社会実装までを実現

- ICTインフラ技術分野：5G、ネットワークセキュリティ、テストベッド等
- ICTサービス技術分野：IoT、ユニバーサルコミュニケーション技術等

■ テーマの特性

- 複数の技術領域、社会科学領域にまたがった融合型のイノベーションが必要
- 社会実装に向けて、規制・制度改革や成果展開の機会拡大のための取組が必要

■ テーマの推進プロセス

- 社会課題抽出：研究開発成果の社会インパクトを明確化
- テーマ選定：現状と目標の大きな技術ギャップを埋める主要技術のみに集中
- テーマ推進：社会変化・技術進化に応じた目標の見直し・組替え

以下の3+1の観点でテーマを推進

◆ 産学官連携

◆ 国際連携

◆ 人材育成

<+1> 社会実装

■ 産学官連携：融合型イノベーションを推進する環境の提供

- オープン&クローズの複数企業での実用化開発の場を創出
- 多様な分野の人材が入り交じる体制を構築
- 民間にない設備や研究人材のサポートを実行

■ 国際連携：他国協調により、日本の強み強化、弱み補完を実行

- テストベット等の海外利用を促進し、海外研究者からの意見聴取によるテストベットの競争力を強化
- Horizon2020等、海外研究機関と協働した研究により、技術導入し、弱みを補完

■ 人材育成：研究者、プロジェクト推進リーダーの複線化による育成

- 研究者ごとに挑戦目標を設定し、リスクをとって新しい価値の創出に挑戦するマインドの醸成
- 多様な分野、多様な人材を繋ぎ、プロジェクトを推進リーダー人材の育成

■ 社会実装：東京オリンピック・パラリンピックなどの多様な機会を活用

ユーザーベネフィットを明確化し、
社会へインパクトを与えるテーマに集中



後世に遺る「レガシー」の形成
＝未来の暮らしを創造

個別技術の羅列ではなく、産学官が
連携してイノベーションを提案



心の感動を生み出す
おもてなしイノベーション

Wonders!

by Panasonic